



天目

エコ活動してますか？

世の中空前のエコブームですね。みなさんは地球の為に何かしていますか？そのエコ活動、実は私欲の為ではありませんか？エコカーに乗るのはガソリン代や税金を節約する為で、こまめに電気を消すのは電気代を節約する為で、本当に心の底から地球の将来を心配している人は残念ながら少なく思えます。企業も販売促進の為に宣伝材料として「エコ」の語を乱用しています。

仏教では、動物だけでなく全てのものに「いのち」があり、それを大切にしようと教えます。しかし矛盾するように、全ての生き物は、お互いの「いのち」を奪わなくては生きられない宿命です。食べ物も、着る物も、家も、そこにある電化製品も、文房具も全部人間が快適に生きる為に犠牲になってくれた「いのち」です。その「いのち」を有り難く頂戴するという気持ちに変えていかなくてははいけません。古いものを捨てて新しいものを買えば買うほど、そこではたくさん「いのち」が殺されているのです。

エコ製品を買うことがエコ活動なのではなくて、今あるものを十分に使い切り、活用し、そのものの「いのちを活かす」ことが本当のエコ活動です。とは言え、我々の物欲が今日の経済成長を果したのも事実です。極端にもものを「買わない」とするのではなく、お互いが少し自覚して、少しずつでも実行することが、環境問題の解決に繋がるのです。

栖雲寺 青柳真元

摩利支天

禅宗のお寺では、本尊と別に鎮守（ちんじゅ）といってお寺を守る神様をお祀り致します。当山では釈迦如来を本尊、摩利支天を鎮守としてお祀りし、創建当時から栖雲寺をお守りいただいておりますが、近年はお堂があるだけで手を合わすべき御神体がありませんでした。この度総代長佐藤好夫氏の寄進で摩利支天像を復刻することができました。彫っていたのは京都の仏師・村田岱観氏です。師は京都の寺院のみならず、近年は本山建長寺の毘盧遮那仏や釈迦苦行像、建長寺派のお寺さんでも数多くの彫刻をされている大仏師です。昨年五月に栖雲寺に来山いただき彫刻をお願いし、本年一月二十日に御神体を奉迎いたしました。

摩利支天は仏教の守護神で、語源はサンスクリット語のマーリーチー陽炎を意味します。陽炎は実体がなく目にも見えないので、捕らわれず、傷つかず、財を取られることはありません。摩利支天は猪に乗って素早く移動し、いろいろな災難から私達の身を隠しご守護くださいます。また害されることがないことから、死と隣り合わせで戦う武士の間にも敵から身を隠し勝利へ導く戦場での守護神として信仰されました。信玄家臣山本勘助や、前田利家、楠木正成なども小像を身につけて出陣したと言われております。

誠に靈験あらたかで、家内安全、身宮安泰、商売繁盛、護身除災、財福授与、武徳守護、福利円満、交通安全、等々、御利益は甚大なものがあります。



西天目参拝

先日、丹波屈指の名刹西天目高源寺へ拝塔に行つて参りました。皇族の勅願寺だけあつて、広い境内や立派な

伽藍、貴重な宝物も多数ございました。境内には天目楓がいたる所に植えられており、紅葉の名所としても有名です。栖雲寺にも分けていただけることになりました。境内を天目楓でいっぱいになりたいと思います。和尚様とも長時間お話しすることができ、今後お互い協力して両天目山を盛り上げていくことを約束いたしました。

御礼

私の授業寺（師から教えを受けた寺）永泰寺の寺庭婦人でもある祖母が、十月に他界いたしました。生前は栖雲寺檀家の皆様にも大変お世話になりました。誠にありがとうございました。本人になり替わり御礼申し上げます。

